

明章小学校4年生 福祉学習 ユニバーサルスポーツボッチャで共生社会を実現

坂井市まちづくりカレッジ第7期卒業生の山田愛莉さんら、たかとの郷づくりチームは、今年度新設された坂井市市民活動応援事業を活用して、ユニバーサルスポーツボッチャで地域共生社会を実現する取り組みを行っています。

多様性を認め合い違いを包み込み受け入れる、というインクルーシブな心を子どもの時期から育んでいきたいと活動を展開している山田さんは、SAGA2024 全国障がい者スポーツ大会の出場選手で明章小学校の卒業生でもあります。

この度、山田さんは母校に凱旋し4年生の福祉学習の授業において、ボッチャを通して楽しみながら、障がいの有無にかかわらず、すべての人が助け合い、共に生きていく社会について分かち合います。是非、その様子取材ください。

記

とき 10月16日(水) 13:10~13:55 (5限目)

ところ 明章小学校 体育館 坂井市丸岡町油為頭 14-5

参加者 明章小学校4年生 11名

講師 山田愛莉(明章小学校出身選手)、山崎海斗(三国町在住ランプ選手)

主催 まちづくりカレッジ第7期生 たかとの郷づくりチーム

協力 明章小学校、たかとの郷づくり協議会

スケジュール

- 13:10 自己紹介、競技用具等紹介
- 13:20 2コート(4チーム)に分かれてボッチャ体験
- 13:45 児童選抜チームと選手の対決
- 13:50 ふりかえり
- 13:55 授業終了



7月31日(水)に実施した
明章児童クラブでの体験会の様子